

木下

正議員

浅田二郎 議員

災害時の放課後児童クラブ等の対策は

問 放課後児童クラブ等と地域防災との連携対策は。

答 地域の自主防災隊と放課後児童クラブ等との連携のため、今後、地域防災対策会議などで連携して取り組む「共助」を推進し、さらなる防災力の強化につなげていきたい。

問 児童クラブ支援員や障がい者施設職員の方々には、袋井市外からの通勤者も多にいる。メローねっと登録の推進は。

答 現在、放課後児童クラブ支援員会議の中で登録の指導を行っている。障がい者施設では今後、中遠地域自立支援協議会袋井支部会議などで登録の呼びかけをしていく。いずれにしても、放課後児童クラブ支援員や障がい者施設職員の登録100%を目指して積極的に働きかけていきたい。



市道田端8号線

袋井市みちプログラム今後の見通し

問 市民ニーズに基づく道路整備、今後の見通しは。

答 幹線道路は重要度が低く満足度が高い、生活道路は重要度が高く満足度が低いとの市民意識調査を踏まえ、道路整備効果が早期に実現できるよう地域とともに効果的なみちづくりに取り組んでいきたい。

核兵器廃絶・戦争のない世界を

問 被爆者をはじめとする草の根からの運動が、核兵器禁止条約に結実した。「ヒバクシャ国際署名」の取り組みを広げよう。

答 昨年度、袋井市長として「ヒバクシャ国際署名」の趣旨に賛同し署名した。市のホームページや広報ふくろいへの掲載、さまざまな平和行政の取り組みを通じて、市民一人一人に署名活動を周知していきたい。

問 2020年は、核兵器廃絶にとつて重要な年である。全市あげて平和の取り組みを発展させよう。

答 世界的な核兵器廃絶に向けた動きを注視し、核兵器平和都市宣言の理念に基づき、市民団体との連携などにより着実に取り組み、若い世代に平和への思いの継承に取り組んでいきたい。

低所得者等のエアコン等設置に支援を

問 熱中症対策には、エアコン等での室温管理が必要である。熱中症弱者に冷房機器設置に助成できないか。

答 現時点で、エアコンの設置に助成は考えていないが、暑い時期にエアコンや扇風機などの適切な使用を継続して啓発することに努め、熱中症の注意喚起を行っていきたい。



ヒバクシャ国際署名ポスター